

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 23 年 10 月 17 日（月）ご依頼分より

■ 新規項目

検査項目	● c-kit 遺伝子変異解析 (GIST)
------	------------------------

■ 新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検査材料	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備 考
6399 7	c-kit遺伝子変異解析 (GIST)	組織 250mg	r	絶凍	11~ 23	2000 ※1	ダイレクト シーケンス法		次頁参照
		未染標本 スライド 5~10 枚	t	室温					

※1：尿・糞便等検査判断料

● c-kit 遺伝子変異解析 (GIST)

c-kit 遺伝子 exon9 および exon11 の変異を解析します。

GIST は消化管に発生する間葉系腫瘍の大半を占める腫瘍で、その 80~90%にみられる c-kit 遺伝子の変異が一因とされています。変異のタイプは、欠失や挿入、点突然変異など様々で、変異部位は exon11 が 70~80%と最も多く、次いで exon9 が約 10%にみられます。近年、これらの変異部位と患者の予後、分子標的薬への効果などとの関係が報告されてきています。例えば、exon11 変異例は GIST の薬物療法の第一選択薬であるイマチニブの奏効率が高いことが知られています。

c-kit 遺伝子変異の情報は、GIST の診断や治療法選択において、有用な情報と考えられます。

▼疾患との関連

- GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor : 消化管間質腫瘍)

▼検査要項

検査項目名	c-kit 遺伝子変異解析 (GIST)	
項目コード No.	6399 7	
検査材料	組織 250 mg	未染標本スライド 5~10 枚
容器	r	t
保存方法	絶凍	室温
所要日数	11~23 日	
検査方法	ダイレクトシーケンス法	
基準値 (単位)		
実施料	2000点 (「D004-2」悪性腫瘍組織検査の「消化管間葉系腫瘍における c-kit 遺伝子検査」)	
判断料	34点 (尿・糞便等検査判断料)	
備考	本検査は c-kit 遺伝子 exon9、11 の変異解析を目的としております。他項目との重複依頼は避けてください。 &コ	

●未染標本スライド材料について

未染標本スライドは、組織のホルマリン固定により DNA が断片化されているため、固定液の種類や、固定時間といった保存状況、保存年数によっては、解析不可能なことがありますので、あらかじめご了承ください。

●c-kit 遺伝子変異解析の留意事項

組織片は、必ず病理組織学的に鏡検され、腫瘍細胞の存在が確認されていることが受託の必須条件となります。

未染標本スライドは、必ず「腫瘍部位確認用検査 (項目コード No.A910-1)」を併せてご依頼ください。提出する際、未染標本スライドの表に切片の厚さを記入し、オブジェクトケース (容器 t) に入れ、室温保存にてご提出ください。

未染標本スライドの種類と枚数

未染標本スライドの種類	切片の厚さ	枚数
腫瘍部位確認用	3~4 μm	2 枚
DNA 抽出用	10 μm	5~10 枚

▼参考文献

Alessandra Maleddu, et al : Journal of Translational Medicine 9 : 75, 2011.

(参考情報) GIST 研究会ホームページ <http://www.gist.jp/shindan/index2011.html>